慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	国民経済の基礎を拡大す可し
Sub Title	
Author	堀切, 善兵衛
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.12 (1917. 12) ,p.1585(59)- 1607(81)
JaLC DOI	10.14991/001.19171201-0059
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19171201-0059

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ル所ナルヘシ。然レトモ祖先祭祀ノ風俗ハ容易ニ之ヲ移スヲ得サルモノアリ。直ニ公業制度ヲ廢止スルハ不能ナルノミナラズ又策ノ得タルモノニアラズ故ニ特ニ公業ヲ奬勵スルノ必要ナシトナスモ急激ニ之カ變更ヲ加フヘカラズ、（上掲書四〇〇頁）として公業の弊を説くに急なるの傾が見えて居る。フリードリヒ大王の當時に制定に着手された普國法典第貳編第四章第貳節に家財團 Familienstiftung に關する規定が存して居つたが現行獨逸帝國民法では財團法人の成立には各聯邦の許可を要することに定めプロイセンの民法施行法は第一條より第三條に亘つて家財團に關する規定を設けて居る。而してこの家財團は前掲普國法典には一定の土地又は資産を家族の爲めに提供したものであると云ふのであるが、米國のホームステッド即ち家産とも世襲財産 Familienfideikommis とも將た又親族共有財産 Gemeinderschaft とも異り、家族をして教育婚嫁扶養等に要する資本を得しむることを目的とする財團法人なりと云へば（京都法學會雜誌第十一卷第二號嘩道教授論文參照）即ち義莊から祭祀の要素を除いたものと見て差支ない。世襲財産や家産や親族共有財産の制度は勿論一般に之を行ふ可きでは無からうが、義莊若くは之に類似の制度に依て滔々たる個人主義の思潮を緩和することの可否は充分に研究の價があることゝ思ふ。

國民經濟の基礎を擴大す可し

堀切善兵衛

一

一國民の平時及非常時に於ける需要を遺憾なく滿足せしむるは國民經濟の要旨とする所たるや云ふまでもなし。然るに平時に在りては外國貿易の途開け、內外有無相通ずるを以て、一國民の需要は多くの困難を伴ふことなくして之を充足せしむるを得るの常なり。然れども非常時に在りて或は貿易關係杜絕し、或は輸出入の上に大なる制限を加へらるゝこと無きに非らざるを以て國民は充分に其需要を充す能はず、引きては國內の產業組織を破壞せらるゝが如きこと敢て珍しとなさゞるなり。否獨り非常時に於てのみならず、平時に於ても世界各國は他國民よりは自國民を重しとなし、他國民の利益よりは自國民の利益を計るに專らな

るが爲め、保護制度を設けて外國品の輸入を防ぎ內地產業家の利益を增進せんとするは今日殆んど普通に見るの現象なり。されば如何なる場合に於ても出來得る丈け完全に國民の需要を滿足せしめんと欲せば自給自足の國民經濟組織を構成するに如かず、然りと雖も有らゆる國民の需要を其國內の產物のみを以て滿足せしむるは事實上不可能なるや云ふまでもなき所なれば、結局は一定の範圍內に於て此目的を達せんことを努むるの外なきなり。果して然なば如何なる種類の需要は之を國內に求め、又如何なる種類の需要は之を他國の供給に委して差支なきやと云ひば(一)國防上必要缺く可らざるの物資、(二)國民の生活に必要缺く可らざる物資、(三)製造工業の根本材料の如きは出來得る丈け自給自足の計を爲すを以て得策なりと云はざるを得ず。而して平時に在りては國際貿易盛に行はれ、內外物資の交換に支障を見ること少なきが故、如何なる物資を外國より輸入しつゝあるも不安を感ずるの念薄しと雖も一朝事あるに當りては今更らに平素の不用意を感せざる能はざるなり。現に今回米國の實行したる鋼鐵輸出禁止の如きは我國民經濟の上に非常の大打擊を與へ、就中造船業者の如きは爲めに破綻を生ずるもの少なからざる可き有樣なり。凡そ一國が突然或物資の輸入を禁止したるが爲め從來之を輸出したりし相手國に大なる苦痛を與へたるの例は敢て珍しからずと雖も、一國が自ら或物資の輸出を禁止若くは制限して之に依り相手國を苦め得るの例は至つて稀あり。然も絕對に此事なしと云ふ可らざるは彼のマーシャル氏の夙に論じたる所にして、米國今回の輸出禁止令の如き明かに之を實證するものと云ふ可きなり。されば其領土の範圍狹少にして原料品を自ら產せざる國家は一朝事あるの際其必要とする物資を自ら供給すること能はずして非常の不便不利に陷る可きのみならず、平時に於ても世界各國が自由貿易を實行せざる限りは其輸出品に對し相手國より重稅を賦課せられ、之に對して復讐的關稅を設けて以て相手國の反省を促さんと欲するに當りても、其相手國は元來此小國に輸出する所僅少なるの故を以て痛痒相感せざる場合少なからざる可し。されば領土狹小なる國民は平時に在りても一旦事あるに當りても、間接にも又直接にも國際的經濟競爭上に不利を免れざるや云ふまでもなし。從て少なくとも原料品の供給地域を擴大し、之を自國の勢力下に歸せしめんとするは自然の勢なりと云はざる

可らず。而して合衆國が今回の戰爭に參加するに至つたる其理由は大統領ウィルソン氏の宣言の如く實に公明正大を極め、何等卑む可き野心の跡なくして唯世界の平和と人道の大義とを念とするもゝ如しと雖も、然も米國の參戰と其實行するに至りたる戰時經濟政策とは少なからず我國民に不安を感ぜしめ、我國の如き少くとも鐵と綿花との原產供給地を我領有に歸せしむるか、然らざるまでも何等かの形式に依りて我勢力範圍內に之を把握し置くに非らざれば國民は安心して經濟的活動に從事する能はざる可しとの觀念を湧起せしむるに至りたるは爭ふ可らざる所なり。吾人は合衆國が斯る、戰時經濟政策を實施するに至りたる原因を以て一部の人士が揣摩臆測を逞ふするが如く、決して合衆國民が吾國の戰爭に冷淡にして漫りに、戰時利得の攫得にのみ沒頭しつゝあるを不快に感じ、爲めに我國を苦むるの目的を以て玆に出でたりとの論に與みするものに非らず。斯の如きは寧ろ齊東野人の言に外ならずして合衆國は唯一意專心宣戰の目的を達せんが爲めに全力を傾注せんと期する其爲めなりと認めざるを得ず。殊に合衆國は其開戰の決意を爲すまでに充分獨逸の何物たるやを理解し、從來歐洲聯合國の多くは漫然其敵を侮りて戰に臨みたるが爲め少なからず不覺を取りしに鑑みて其失敗を繰返さゞらんことを期し、總ての方面に對して十二分の用意を盡し、以て宣戰の目的を達せざれば止まざらんとする大決心の其結果、陸海軍に、造船に、軍資の調達に、將た金融經濟上に大英斷を試みたるものに外ならざるを確信する次第なれども、然も合衆國の此英斷は我國の經濟界に大なる變調を惹起せしめ、我產業の或物に對し殆んど致命的損傷を與ふるもの亦無きに非らざることを認めざる能はざるなり。

我國民の一部中には今回の戰爭に際し我同盟國若くは與國が幾十百萬の壯丁を殺し、一國を焦土となして敵國と戰ひつゝあるに、獨り我國民が經濟的利益の攫得に專念なるを非難し、若くは心に慚色あるが如き言を爲すもの無きに非らずと雖も斯の如きは東洋的思想の發露たる乎、然らずむば僞善に外ならずと云ふ可し。苟くも敵國側を援助せず、聯合國側の利益に反せざる範圍內に於ける經濟的活動は何等の遠慮を要す可きに非らず、現に合衆國と雖も英人の血を享け、其言語風俗、社會制度の上に於て悉く第二の英國たるに拘らず、開戰以來三年間局外中立の立

場を固守し其間に莫大なる戰時利得を收受したるに非らずや。今や其特殊の關係に基き、戰爭に參加するに至りたればとて未だ歐洲戰場に出兵したる其兵數は二十萬を出でざる可く、其海陸軍は未だ一回も敵兵と相見えたるに非らず。然るに戰爭開始の其初めより終始一貫不斷の援助を聯合國に致し來りたる我國の態度に對し不平の聲を米國民の發する理由はある可らず。唯我國の地理的位置と利害關係とは合衆國と同じからざるが故我國の聯合側に致す援助の程度は一定の限度あり。此限度を越ゆるは獨り我國情の許さゞる所たるのみならず聯合國の全部が又必ずしも之を歡迎するものに非らざるを知らざる可らざるなり。而して一方に於て此援助を聯合國に致しつゝ他の一方に於て尤も大膽自由なる經濟上の活動を爲すに至りては誰に憚る所か之れあらんや。

殊に一部論者の云ふが如く合衆國が吾國の聯合國に對する援助の冷淡なるを含み、我國を苦むる目的を以て我に不利益なる經濟政策を實行するものなりとせば我國民はいやが上にも此際を以て盛に東洋南洋其他の市場に活躍を試みて以て他日の基礎を確立するの覺悟なかる可らざるなり。

合衆國政府が一度び鋼鐵類の輸出禁止を發表するや我朝野は爲めに非常に驚き、殊に造船業者を初め鐵を原料として使用せざる可らざる有らゆる事業關係者等は以て其死活問題なりとなし、箇人として又團體として各地に躍起運動を開始し、內に在りては政府當局者を訪問して其意見を開陳し、米國に向つて解禁交涉を急開せられんことを懇請し、外に向つては我商業會議所より合衆國の商業會議所及び知名の米人等に打電して同じく解禁の爲めに努力せられんことを懇請したり。此間に我政府も亦米國政府に對し石井大使若くは我駐米大使等をして同一目的の爲めに奔走せしめたりと想像す可き理由あり。然も合衆國の決心頗る堅く、容易に我國の希望は達せらるゝ能はずして今日に及びたり。

之を合衆國の立場より觀察せんに、今回の戰爭に由り同國は立國以來初めて歐洲まで大兵を派遣し、殊に英佛露等從來其陸軍或は海軍を以て世界に雄飛したる諸國さへ殆んと手に餘したる、否な寧ろ負け込みたる其强敵を擊破して、之に致命傷を與へんとするに在れば、有らゆる犧牲を敢てするの覺悟を以て戰備を整ふる

も決して無理ならずと云ふ可し。殊に米國人の性質たる善意に解すれば即ち快活、惡意に之を評すれば即ち輕佻浮薄にして最初は歐洲戰爭を雲煙過雁視して極力軍需品の賣込みに從事し、之に依りて巨富を博したるもの非常に多く、紐育其他の大都市に於ては奢侈の盛なる殆んど空前の事なりと稱せられたりしが一度び開戰と決するや忽ちにして戰爭熱に浮かされ復た他を顧るの暇なきものゝ如し。殊に開戰前までの非戰論者は急轉直下して、戰爭熱心家と化し、獨逸種に屬する一千萬人の米人は一人の起ちて政府の政策に反對するものなきの有樣なり。斯の如きは大統領ウイルソン氏の政治的靈腕が能く米國の人心を此處に導き來りたる其結果とのみ了解すべきに非ず。勿論ウ氏が最初三年の間務めて戰爭の禍中に米國を投ずることを避け、獨逸が國際條約を無視し、無警告潛水艇戰を敢てして以て米人の生命財產に危害を及ぼし、其暴狀到底容赦す可きに非らざるの事實を明かにして初めて開戰の手段に出でしが爲め、此間に米國の人心は日一日と熱し來りて最初極力開戰に反對したりし人々さへ今は一戰の止むを得ざるを覺悟したるに相違なし。即ち我大隈內閣が急ぎに急ぎて戰爭を開始したる其輕卒の態度とは非常の相違なりと云はざるを得ず。換言すれば前大隈內閣は國民未だ開戰の止むを得ざる其理由を了解せざるに早くも戰爭の渦中に投じたるが故、又我攻擊の目的地が單に靑島の一根據地に止まりしが故國民は意外に此戰爭に冷淡にして寧ろ此戰爭長期に渡れば渡るだけ、我邦の利益なるが如くに思考したり。殊に大隈內閣の放恣不謹愼なる歐洲戰場に於て我同盟軍の旗色甚だ振はざる其際に於て早くも非常の行賞を爲すが如きことありしかば多々益々戰爭に對し國民を不眞面目ならしめしこと疑ふ可らず。反之米國政府は過去三年の間全然戰爭に參加するの意思なきものゝ如く裝ひたりしかば英國系統の米人等は寧ろウイルソン政府に不平にして其爲すあるに足らざるを非難するの有樣なりしが然も政府及び多數米人の反獨逸的感情は日一日と高調し來り、遂に政府が開戰と決心するや國を擧げて之を支持するの形勢となれり。即ち米國人の群衆心理は我國民の失れと全く反對の結果を見るに至りし次第にして今日に於て我邦人は自己の心裡狀態より推して米國民の爲す所聊か理解に苦む點あるが如し。

斯る次第なれば今日米人の眼中には唯戰爭及び如何にして此開戰の目的を到

達すべきかの其政策あるのみにして、我國との貿易關係の如きは全然顧慮する所なしと云ふも過言に非ず。從て其鋼鐵及び金の輸出禁止に對し我國が多大の不便を感ずればとて、將た我國政府及び民間に於て周章狼狽を極め、只管懇請的交渉を試みたればとて彼に於て多く重きを置かざるは勿論にして、容易に其解決を見るを得ざるは決して怪むべきに非らざるなり。獨り是れのみならず今後時日の經過すると共に米國は更らに奢侈品の輸入を禁止するの目的を以て我生糸の輸入禁止をも斷行すること無きを保せざる可し。蓋し生糸絹物の如き確かに奢侈品たるに相違なく、今日已に米國に於て食糧制限の實行せられんとする此際、生糸其他の絹物輸入禁止の如き寧ろ之有るを豫想するもの至當なるを思はずむばあらざるなり。而して事茲に至らば我經濟界に及ばず其影響の實に甚大なる可きは言を俟たざる所にして思へば實に寒心に堪へざるものありと云はざる可らず。之を大局の上より觀れば今年の如き我輸出超過は五億圓に達すべく之に海運業の收受する金額を加算すれば無慮八億の債權は我國富に加算せらるゝ筈なり。而して、合衆國に對し縱令來年度に於て一圓の輸出超過を見ざるにしても我國は尙ほ六七億圓の貿易上及國民經濟上の利得を博し得ること明白なるが故毫も憂ふ可きもの非らざる如しと雖も、然も我國輸出品中の大宗たる生糸が其海外に於ける大市場たる米國にて拒絕せらるゝに於ては獨り全國の製糸業者養蠶家等に非常の大打擊たるに止らず、今日養蠶は多數農家の副業たるに至りたることなれば全國の農民に取りて至大の苦痛を與ふるに至るべく、引きては一般經濟界を一時恐慌狀態に陷らしめざるを保せざる可し。されば米國は獨り其輸出禁止に由りて我國民經濟上に大なる苦痛を與ふるに止らず、一面に於ては其輸入禁止に由りて更らにより大なる打擊を我經濟界に與へ得るの可能性を有することを忘る可らざるなり。換言すれば生糸、羽二重、茶等を輸出して鐵と綿花とを輸入しつゝある我國は對米經濟關係上非常の弱點を有するものと云はざるを得ず。思茲に至れば吾人は同一價格の輸出入に就きても常に之を同一と見る能はざるの理由を發見するに苦まざる可し。

三

國際貿易關係に於て縱令甲乙兩國が同じく二億圓の輸出入を交換しつゝ有り

とするも甲の輸出品は乙に於て不斷に其需要强烈なるに反し、乙の輸出品は甲に於て不斷に强烈なる需要を有せず。換言すれば時と場合に由りて其需要を抑制すること困難ならざる時は、甲は諸種の點に於て有利の地位に立つ可く就中甲は自國の輸入稅の大部分を乙に轉嫁せしむるを得可し。とはマーシャル氏の夙に論破したる所なり。即ち同じく二億圓の輸出を算するにしても其輸出品が食糧品又は鐵石炭の如き必要物資なる場合に於ては葡萄酒、煙草、絹物、其他の奢侈品なる場合よりも對外關係上遙かに强味を有するは疑を容れざる所にして此强味は平和の際に於て國際貿易の圓滑に行はるゝ間は、さ程各國民に由りて感知せられずと雖も一旦事あるに當りては忽ち其潛勢力を發揮するに至るものとす。即ち合衆國今回の例の如きは其最も顯著なるものにして、同國の輸出品は食糧品及び鐵、綿花の如き工業の必要品より重に成立するが爲め、一度び其輸出を中止せんか平素其供給を仰ぎたる諸國民は非常の不便不利を來さゞるを得ざるなり。反之して我國より米國への輸出品は生糸、羽二重、茶、麥稈眞田、陶磁器の如き、主として奢侈品若くは通常物資にして米國が其供給を絶たるゝと雖も敢て苦痛を感ず可き性質のものに非ず。少くとも其供給を受くるに非らざれば合衆國が前古未曾有の此戰爭を遂行するに困難なりと云ふが如き物品は殆んど一も我國より合衆國に對して輸出しつゝあらざるなり。之れ今回の如き日米間の交渉に際し我國が非常に不利益に陷らざるを得ざる所以なりとす。されば假りに彼我共に二億の輸出入を交換しつゝありとするも彼我の其二億は同一なりと云ふ能はざる次第にして、數學家若くは統計學者の眼より見れば其二億圓の間に何等の相異を見ずと雖も政治的に之を觀察すれば多大の相異あるを認めざるを得ざるなり。否な之を國民經濟上より觀察する場合に於ても此間に何等の相異なしとは云ふ可らず。蓋し國民經濟の要義とする所は單に目前に差迫れる國民の需要を滿足せしむるを以て足れりとせず、將來に渡りて確實に其國民の需要を滿足せしめ、健全に其經濟の發展を期せしめざる可らざるが故、平時に於て何等國民經濟上に支障を來すことなしとするも一旦緩急あるに際し、忽ち國內の經濟組織を破壞せしめ、其資本家勞働者をして或は不測の損害を蒙らしめ、或は失業の止むを得ざるに至らしめ或は一般消費者をして必要物資の暴騰を感せしめ、甚しきに至りては其必要

物資の供給を得るに由なからしむるが如きは決して國民經濟の要義に叶ふものと稱す可らざるなり。されば同じく二億の輸出を爲すも一は平時と非常時との差別なく能く其國民經濟の常調を維持するに足り、一は平時に於ては格別の支障を生ずること無きも一旦緩急あるに當り忽ち破綻を生ずるを免れずとすれば、兩者の間に多大の相異あるを認めざるを得ざる可し。故に單に金額の如何をのみ見て立論するは數學家としては可なり、統計家としても可なり、會社銀行のクラークとしても可なり、然れども政治家、財政家、經濟學者としては斷じて非なりと云はざるを得ず。而して此點に關しては從來の自由貿易論者の議論に大なる缺點の存したりしを認めざる能はず。蓋し彼等の主張は專ら理想論に走り內外有無相通ずる國際的分業及び交易を以て、現在に於ても將た將來に於ても一國民の利益を完全に增進する所以なりと思惟し、變態的の情勢に對して何等の考慮を拂はざりしのみならず、戰爭は云ふに及ばず、國民的反感、他國民よりは先づ自國民の利益を主とする各國政府の政策等をも一切之を閑却して、只一片の理想を追及したるに止まるが故、今日の實際界に處して不便不利を來すの點なきに非らざるなり。

若しも合衆國政府にして其國民經濟の利益を計ると同一熱心を以て我國民經濟の利益を考慮するの厚意あるものと想像するを得ば、何を苦んでか平素より變時に處するの計劃を樹立するの要あらんや。然れども實際上に斯の如き厚意を外國に求むるの無理なるは多言を要せざる次第なるが故、眞に永久に渡りて國民經濟の健全なる發展を期せんと欲せば平素より萬一の場合に處するの計を定め少くとも國民生活の必要品若くは製造工業の根本的物資の供給を自國內若くは其勢力範圍內但しは萬一の場合に處しても輸出入を妨げらるゝ恐れなき地方に之を求むるの用意なかる可らざるなり。現に我國の如き鐵、棉花、羊毛の三品に就きてのみ之を云ふも、孰れも我國內の產出額のみを以てしては啻に現在の國民的需要を充すに足らざるのみならず、將來多々益々增加する國民的需要に對し其十が一を國內に於て充すに足らざるなり。然れども幸に朝鮮及び滿蒙の存するあり。之を計算に入るれば或程度まで此需要を充すに足る可く、更らに支那をも之に加ふれば先以て我國は必要原料品の供給上大なる窮乏を感ぜざるを得可きなり。

四

斯く云へばとて吾人は決して支那全土に對し領土的野心を懷抱するの意味には非らず。支那の一部即ち滿蒙に對しては必ずしも領土的野心を挾む可らずと云ふに非らず。蓋し今回の日米共同宣言にも示したるが如く、領土の接續したる地方に於て特殊の政治的關係を生ずるに至るは自然の勢にして、將來滿蒙地方と我國との政治上及び經濟上の關係は層一層密接を加ふ可きに至るは殆んど疑ふの餘地あることなし。然れども滿蒙以外の支那に對しては其關係自ら異らざる可からざるものあり。即ち此等の地方に對しては土地に着目せずして其利權に着眼せざる可らざるなり。而して鐵の如きは殆んど無限に其供給を此處に求め得可きのみならず、棉花の如きも或程度まで南清に於て其供給を爲さしむることも敢て困難ならずと稱せらる。啻に之のみならず、支那全土に渡り富源の開發す可きもの多きは決して北米合衆國の夫れに劣らざるは疑を容れざる所なり。されば此莫大なる富源より、我國は平時に於ても將た戰時に於ても製造工業の原料品を最も確實に輸入し得るの計畫を定めざる可らざるなり。例へば滿蒙の牧畜業を奬勵して此處に我羊毛の供給地を見出し、中部支那に於ては鐵に對する不斷の供給地を設定し、南部支那に於ては棉花の供給地を見出すが如き之なり。換言すれば我製造工業に對する根源地を支那に樹立するの計畫なかる可らざるなり。即ち日支借款を利用するも可なり、但しは日支合辦の形式を取るも可なり、兎に角に我國の製造工業に對する必要原料を平時と戰時とに關係なく充分に且つ安全に之を供給せしむるの保障なかる可らざるなり。

之と同時に一面我製造工業品の海外に於ける販路として支那が最も有望の土地たるは今更ら論ずるまでもなき所にして、現に歐洲戰爭の發生以來從來歐洲諸國より支那に輸出したる貨物の激減せると反比例に、我對支輸出は非常の盛況を呈するに至りたるは顯著なる事實なりとす。されば戰爭開始以來開拓したる此販路を今後に維持す可きは勿論將來益〻其發展を期圖せざる可らざるや論を俟たず。然りと雖も吾人は彼の關西地方に於ける一部紡績業者の如く我利一偏に流れて些細なる眼前の利益を云々し、永久に渡りて各方面の利益を忘るゝが如きものに對しては大に警戒する所なかる可らずと信ずるものなり。即ち支那が綿糸の輸入稅を時價の五分に變更せんとするに對してさへ極力反對せんとするが如

きは全然支那の關稅自主權を無視する議論にして吾人の取らざる所なり。蓋し支那をして綿糸の輸入稅を從來の儘に據置かしめんには我國に取りて便利なるや云ふまでもなし。然れども彼に對して餘りに不條理を强ゆるは決して得策なりと云ふ可らず。特に之を現在の從價五分に引上ぐるも尙ほ極めて低度の課稅たるや明白なる所にして、五分前後の課稅ありたればとて此障壁を踰越して我綿糸が支那市場に於て其內地に於ける綿糸業と競爭するに困難なりと云ふが如きは餘りに我當業者の競爭能力の薄弱なるを語るものに外ならざる可し。獨り綿糸に限らず、有らゆる我對支輸出に對し支那關稅の低きに在るは我國に取りて便利なるや言を俟たず。從て支那が我國を無視して漫りに其關稅率を引き上げんとするに對し我國は反對せざる可らざるや勿論なり。然りと雖も或程度までの引上げは寧ろ我國が歐米諸國と支那市場に於て競爭する場合に當り我國に利ならずとせざるなり。何となれば支那の關稅が高率なるに從ひ歐米の對支輸出は既に運賃の點に於て遙に我國に比し不利益なる尙ほ其上に關稅增徵に由りて更に不利益を蒙るを免れざればなり。換言すれば或程度までの支那の關稅引上げは我國に對するよりも歐米諸國に對する打擊比較的大なりと云はざるを得ず。されば支那に於ける關稅改正の如きも一概に我國は之に向つて反對す可きに非らざるなり。否な將來日支間に經濟同盟を形成し、歐洲諸國が我國の輸出品に對し高關稅を課したる場合には獨り我國のみならず、支那も亦其歐米諸國に對し關稅を引き上げて以て其反省を促すを得る樣寧ろ支那をして更らに其稅權の獨立を確保せしむるの必要あるを認めざる能はざるなり。蓋し歐米諸國が我國の輸出品に壓迫を加ふることあるも之に對して我國のみ報復を企てたればとて彼等は殆んど何等の苦痛を感ぜざる可しと雖も支那も亦我國と利害を共にすと云ふに至りては歐米諸國も決して晏如たるを得ざる可ければなり。

五

勿論支那をして歐米諸國に對する經濟政策上我國と同一態度に出でしめんとするは容易のことに非ず。今後更に兩國民の理解を深くし、獨り政治上に於てのみならず、經濟上に於ても兩者が單獨に歐米諸國と折衝するは極めて不利益にして寧ろ歐米諸國の輕侮を招く所以に外ならざるを知覺するに至らざる可らざる

なり。彼の獨墺兩國間には先づ政治的同盟成立し今回の歐洲戰爭の結果漸く中歐經濟同盟を形作るの必要認められ、兩國の識者間に此種の議論を爲すもの多きに至りたれども日支兩國の間には先以て經濟同盟を成立せしめ政治的同盟は自然に其成るの日を期待するの得策なるを信ずるものなり。果して然らば其經濟同盟とは何ぞやと云ふに資本の投下、日支合辦事業の奬勵、日支銀行の設立、鐵道の建設等の手段に由りて我國は出來るだけ支那に對して資本の供給を計り、之に對して支那は出來得るだけの便宜を邦人に與へ以て我製造工業の原料品を遺憾なく我に供給するに努む可きなり。而して日支關稅同盟に至りては最も喜ばしき所なるや論なしと雖も然もこは最惠國條款の存するありて其實行上容易ならず、即ち我國のみ支那に於て特殊の低稅を要求するも無益なる次第なれば吾人は此點に多大の注意を拂はんとするものに非ず。唯如何なる場合に於ても我國民生活の必要物資及製造工業の原料品を遺憾なく我に提供せしむるの保證を攫得すると共に、此保證をして有效ならしむるだけの用意を整ふるを以て暫く滿足せんと欲するものなり。而して今回の如く米國其他が或は其輸出禁止に由り、或は其輸入禁止に由りて我國民經濟組織に大動搖を與へ、之が爲め我國民は或は其必要品の供給を斷たれ、或は生產事業を一時放棄するの止むを得ざる境遇に陷り、國民の損失誠に莫大なる此際に於て自衛の必要上支那に對して之が補給の途を開くものなるに於ては歐米諸國も敢て異議あること無かるべきなり。即ち我國は此際支那の中央政府に對し、但しは各省に對して單獨に其借款に應じ之に依りて必要物資を得るの利權を攫得すと雖も歐米諸國は敢て猜疑を逞ふするが如きこと無かる可きなり。縱令多少の猜疑を抱き或は何等かの抗議を爲すもの有りとも我に於ては只斷乎として國民經濟の維持上止むを得ざるに出でたることを答ふれば足る可きのみ。故に或意味より云へば今回米國が輸出入の禁止又は制限に由りて我貿易業者及び國內の特殊產業に打擊を與へたるは我對支經濟的發展の上に好箇の口實と機會とを與へたりと云ふも敢て不當に非らざるべきなり。眼前に於ける一時の禍を轉化して將來永久の我國利民福たらしむることを得ば吾人は寧ろ米國の與へたる此打擊を歡迎するに嘗ならざるものなり。然るに我國の朝野人士は是を之思はず、徒らに狼狽して只管米國に向ひて哀訴嘆願し、然も屢々

たる十數萬噸の鐵を請はんと欲す。誠に其日暮しの貧窮者の態度にして極端に云ひば乞食根生の發露と評するの外なかる可し。尤も當業者の見地より云へば差し當りて其困難を救濟するの方法は米國に向つて嘆願するの外策なからんも知れざれども、政府當局者の如きも一面に於て根本的に、換言すれば將來に於て斯の如き失體を繰返さゞる其用意を爲し、禍を變じて幸福と爲すの計畫を立てざるは餘りに不見識なりと評せざるを得ず。吾人は今日に至るまで一面に政府が支那に對して何等經濟上の利權を取得したることを聞かざるを甚だ遺憾とせざるを得ざるなり。而して我國民は今後戰爭の繼續するに連れ米國は如何なる戰時政策を實施し其結果如何に重大なる打擊を我國に與るやも計り知る可らずとして誠に憂慮惜く能はざるものゝ如し。之が爲め經濟界は萎縮し企業心は頓に消沈せんとする傾あり。經世家の心す可きは將に此點にして彼の瑞典、和蘭の如く交戰國に近接せる地形上手も足も出でざる諸國はいざ知らず、我國の如く亞細亞の全部、南洋、南米等今回の戰爭に直接關係なく否此戰爭の爲めに歐米諸國との交通貿易意の如くならず、爲めに我國の商權擴張の上より云へば非常の便宜を占むる是等の地域は尙ほ世界の三分の二を占むる今日此際我國民の經濟的雄心早くも消磨して逡巡爲す無きの有樣なるは誠に心細き次第なりと云はざるを得ず。而して事此處に至らしめたるは要するに政府に於ても又世間の識者に於ても根本的に我國民經濟の基礎を確立するの考なく、唯一時の應急手段にのみ焦慮しつゝあるが故、國民は只狼狽し、只警戒するを以て能事となし進んで事を爲すもの無きの結果なり。されば米國に失ひたる所は必ず之を支那に取るの方針を定め、獨り現在の時局に處してのみと云はず、將來永久に我國民生活の必要品と製造工業の原料品とは我國の勢力範圍內より其供給を受け得可しとの確信を國民に抱かしむるに於ては國民は更に猛然として此新なる路に向ひ進出するに至る可きなり。吾人は製造工業の根本的材料の供給地を我國の勢力範圍內に見出す可しとの意味に於て國民經濟の基礎を擴大するの必要を唱へ、且つ對米經濟關係の圓滑を缺くに至りし此際を以て其目的を達するに最好の時期なりと認むるものなり。